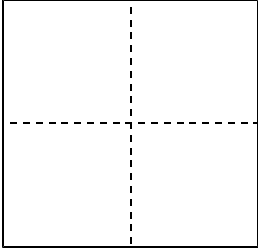
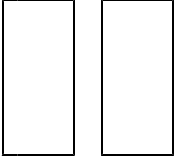
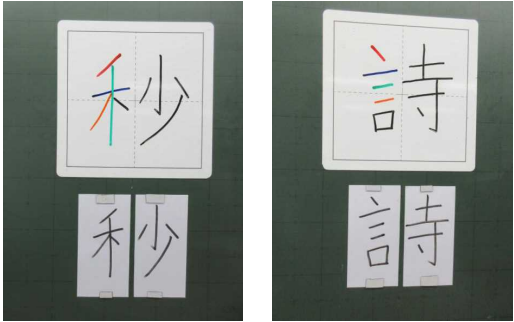


自作教具の活用事例

【作品名】 漢字筆順ボード 漢字部品カード	【学校名】 日立市立会瀬小学校
【活用できる領域・教科等】 国語 漢字の習得	【制作者名】 赤津 好美
【制作の意図】 漢字の筆順や字形を覚えにくい児童が、筆順や漢字の組み立てを確認しながら字形をとらえやすくする。	【使用の方法】 ・新出漢字を学習する際に、黒板にあらかじめ色付きマーカーで書いておいた短冊白板を提示し、筆順を確認する。 ・へんやその他の部分を画用紙に書いて提示し、説明しながら確認する。
【制作上の工夫】 短冊白板は、4マスの罫線入りで、画の位置がとらえやすい。マグネットシートなので、黒板に掲示しやすい。 画用紙に、漢字をへんやその他の部品に分解したものを書く。	【見取り図】 短冊白板  30 cm 30 cm 画用紙  20 cm 10 cm
【写真】 	【使用効果と応用発展】 2、3年生で活用できる。 部品カードで示して学習することで、既習の文字が組み合わされてできていることが分かり、書くことに興味をもって取り組むことができる。
【材料・材質・部品等】 短冊白板（市販品） 画用紙 ホワイトボードマーカー（色付き） マジックペン	